

第 127 回安全対策等の現場点検

2026.5.28 (木) 午後 1 時 00 分～午後 5 時 00 分 浜岡原子力発電所 1-1 会議室

中部電力(株)浜岡原子力発電所が実施している安全確保に関する取り組みについて、静岡県および御前崎市による点検を実施しました。発電所の安全を確認する観点から、これまでは津波対策工事ほか追加工事を対象に点検を実施してきましたが、基準地震動策定に係る不適切事案を踏まえ、停止時の安全に必要な設備や廃止措置についても点検を実施します。

点検項目

〈安全確保に関する取り組み〉

○机上点検

- ・使用済燃料の貯蔵状態確認の方法と放射線モニタの点検方法（4号機） 書類確認

○現場点検

- ・使用済燃料の貯蔵状態確認の方法と放射線モニタの点検方法（4号機） 状況確認

〈講評〉

静岡県から「燃料プールの燃料ラック内における使用済燃料の保管状況および燃料プール付近に設置している放射線モニタの点検状況について、書類確認および現場確認をおこなった。保守点検がおこなわれており、安全対策が図られていることを確認した。」と講評がありました。

御前崎市から「今回の点検は、中部電力が新規制基準適合性審査における基準地震動策定に係る不適切事案を受け、発電所の安全確保のための設備の健全性の確認を行った結果を3月16日に公表したが、公表内容について現地で確認するものである。したがって、この点検はあくまで中部電力の公表内容について確認するものであり、発電所の安全性を静岡様及び御前崎市が確認するものではない。

次に、3月16日に中部電力様から公表された点検内容は大きく分けて次の7項目である。

まず、使用済燃料を冷やすための設備及び放射性物質を閉じ込めるための設備ということで、

- ① 燃料プールの燃料ラック内に使用済燃料を保管
- ② 燃料プールの水位維持
- ③ 燃料プールのある原子炉建屋内の負圧維持
- ④ 非常時における放射性物質の外部への放出防止
- ⑤ 異常の早期検知
- ⑥ 非常時の電源供給、

次に放射性物質の漏えいのような異常を早期検知する設備ということで、

- ⑦ 異常の早期検知

の7項目を中部電力が点検し、いずれも健全性が確認されたとの結果であった。この7項目の内、今回は①の燃料プールの燃料ラック内に使用済燃料を保管と⑤の燃料プールエリアの異常の早期検知について点検した。

まず、使用済燃料の数については、中部電力が点検した記録を確認し、6, 542体保管されてい

ることが確認できた。次に保管状況だが、中部電力が点検した記録を確認し、現地では代表して4号機について使用済燃料貯蔵ラックの外観、形状に異常がないことを確認できた。また、燃料が使用済燃料貯蔵ラックの所定の位置まで挿入され、適切に貯蔵されていることが確認できた。

次に、燃料プールエリアの異常を検知するモニタについて、書類にて中部電力が点検した記録を確認し、燃料プール周辺における放射線量率の測定、異常の早期検知ができることを確認できた。また、現地確認においては所定の位置にモニタ検出器が設置されていることを確認できた。

以上の結果から、①の燃料プールの燃料ラック内に使用済燃料を保管と⑤の燃料プールエリアの異常の早期検知については、中部電力が公表した内容に相異がないことを確認できた。

引き続き残り5項目の点検についても協力をお願いします。」と講評しました。



燃料プールの燃料ラック内における
使用済燃料の保管状況を確認している様子



燃料プール付近に設置した
放射線モニタを確認している様子